

会議録

| | | | |
|--------------------|--|-----------------|------|
| 会議名 (審議会等名) | 相模原市南区区民会議 | | |
| 事務局 (担当課) | 南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通) | | |
| 開催日時 | 令和5年11月8日(水) 10時00分~12時01分 | | |
| 開催場所 | 南区合同庁舎3階 講堂 | | |
| 出席者 | 委員 | 20人(別紙のとおり) | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 8人(南区長、副区長、他6人) | |
| 公開の可否 | 可 | 不可 | 一部不可 |
| | 傍聴者数 | 0人 | |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | <p>1 開会</p> <p>2 区長あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 無作為抽出型区民討議会 第1回運営委員会の結果について</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 無作為抽出型区民討議会 参加者募集通知書等について</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 同封するアンケートについて</p> <p>4 その他</p> <p style="margin-left: 20px;">・区民会議スケジュールについて</p> <p>5 閉会</p> | | |

審議経過

1 開会

2 区長挨拶

加藤南区長から挨拶を行った。

3 議題

(1) 無作為抽出型区民等議会 第1回運営委員会の結果について

資料に基づき事務局から説明

無作為抽出型区民討議会参加者の抽出件数について、シニア世代400名、働く世代1,080名、若者世代1,600名が妥当であるかについてご意見等があれば伺いたい。(井坂会長)

16歳以上が対象で抽出する3,080の母数は、どのくらいになりますか。(松嶋委員)
抽出対象は南区内に住んでいる16歳以上の方全員であり、今年の1月1日時点のデータでは、24万5,051人。おおよそ1.25%の方に通知が届くことになる。

各地区440件とあるが、7地区とも同じ件数を発送するという理解でよいか。地区ごとに人口は違うと思うが、その点はいかがか。(大木委員)

運営委員会の検討の中で、各地区の人口にばらつきはあるが、前回と同様の440件で発送する方向性になった。

前回のアンケートの回収率は13.6%であったが、今回もそのぐらいを目指しているのか、もっと増やすのか。そういう話しはされたのでしょうか。(金森委員)

今回は、QRコードでも回答できるようにするので、回答率は上がる見込みでいる。

参加者40名程度で申込み多数の場合は抽選とあるが、どのような方法ですか。(渋谷委員)

詳細は今後運営委員会で検討し、次回の区民会議までに回答する。

続いて、討議テーマの副題について、運営委員会からは分かりやすく、参加したくなるような表現で、この区民会議で決めてほしいということで戻ってきている。ご意見を伺います。(井坂会長)

取組方法の検討についてという表現が固いので、いかがでしょうか。(渡辺(幸)委員)
かみ砕いたというか、興味をそそられるような表現に変えたいなというのが、本日のテーマとなる。(井坂会長)

「わいわい語ろう Part 幾つ」で、今年はPart 7でこの部分は変えられないと思う。副題について、キャッチーな、最近若者の間ではやっている言葉ということなので、内容には直接、全く関係なくてよいのでないかと考える。(隈本委員)

分かりやすくということで、南区の活性化、どうやったらできるというクエスチョンマークとビックリマークみたいなものが、すぐ何の話をするのかなというのが分かるかなと思う。(横山委員)

せっかく南区なので、この「わいわいみんなで南区語ろう」と「南」を入れたほうがよいと感じる。(渋谷委員)

例えば、地域を楽しくするとか、にぎやかにするとか、もう少し柔らかい表現で表すことができないかなと感じる。(中島(勝)委員)

地域活性化って非常に難しい言葉で、地域活性化の取組と言われると、地域活性化が分かっている、それを取り組まなきゃいけないということになる。したがって、「地域をわいわい仲よくするにはどうしたらいいの」はどうでしょうか。(松嶋委員)

地域活性化の取組方法を生かしておいて、「自分のまちへの夢を語ろう」とか、「あなたが描く未来の街」とかを横につけて柔らかくする方法もあると考える。(大木委員)

「わいわいみんなで語ろう」の件に関して、南区が入るのがベターと思うのと同時に、このPart 幾つというのは括弧書きで、我々サイドが分かればよいように感じる。(長瀬委員)

地域活性化という言葉は難しいが、そのまま残して、皆さんがそれぞれの地域活性化を自分で考えられるようにしたほうが、話が広がる気がする。地域活性化ということが難しいのであれば、「地域活性化とは」というように、言葉の定義みたいなのを少し参考に載せるとかがいいのかなと思う。(井部委員)

能動性と主体性を持つには、例えば「いよいよまちつくり」ということのような副題でもよい。あまり制約されないで、いろいろ意味でよいまちってありますよね。呼びかけというか、そういうアプローチになると私は思う。(草薙委員)

地域活性化って何だろうというような問いかけ、例えばさっき言ったビックリマーク、クエスチョンマークみたいな、そういった形にした上で、そのための方法はみたいな2段階構成にするというのも、一つありなのかなと思う。(隈本委員)

整理すると、もともとこの地域活性化の取組方法の検討についてということ、以前から、地域活性化、子育て世代とか、それから若い世代がなかなか地域の活動に参加しないままだと地域がだんだん衰退してしまうから、何とか参加しやすいような取組を考えようというよ

うなところが出発点になっています。なので、参加したいような討議会になればなというふうに思っている。一つは、昭和の地域活性化じゃなくて、令和の地域活性化ということで、何か令和というのを入れてもよいかと考える。（井坂会長）

例えば、「あなたにとって南区って何だろう」というような問いでもいいのかなと感じる。（田村（小）委員）

テーマは地域活性化のためにというのを、外してはいけないと考える。やはり若い人にたくさん出席してほしい。令和の地域活性化という言葉を入れると、若者も飛びついてくれるのではないかなと思うので、分かりにくいのであれば、サブテーマで、先ほど皆様が言われたような言葉をつけていけばいいのかなと思う。（篠塚委員）

ここに住んでよかったという言葉を引き出したいなと思っている。（田村（久）委員）

皆さん、いろいろな代表ですから、その代表の中で実行している言葉が一つの活性化につながるのではないかなと思う。若い人が集まる、小さいことでもよいから、いろいろな団体で、何かやっていってくれるようなものが必要かなと思っている。（鈴木委員）

活性化という言葉が、それが全てを表している言葉なのかもしれないが、多少は堅苦しいのは感じなくもないので、その活性化をかみ砕いて優しくして、地域活性化はそのまま、その次に地域活性化、みんなでつくろうと、よいまちつくろうとかはいかがか。（渋谷委員）

例えば、「よりよいまちつくろう 令和の地域活性化を考える」とか、そういうことですかね。地域活性化だけだと固過ぎるから、そこに目的を補足する形。（井坂会長）

地域活性化の後に来るものが、もう少し具体的なほうがよいのかなと感じる。（佐田委員）

討議のテーマとして投げかけるような、あなたにとってのよいまちとはとか、令和の地域活性化とはとか、それについて考えてみようかなと思うような投げかけ形式の表現はどうか。（渡辺（美）委員）

投げかけられると、考えてみようって気にもなるので、必要かなというふうに思う。いわゆる副題の部分の「わいわいみんなで語ろう Part 7」ということは、変えてしまってもよいところなのかどうか伺いたい。（井坂会長）

特にこだわりはないので、「地域活性化の」という言葉を残して、よいまちつくろう、地域活性化であってもよいし、地域をわいわい仲よくするようなイメージでもよいし、お任せする。

「わいわいみんなで語ろう」の部分も変えてしまって大丈夫でしょうか。（井坂会長）

名称を継続することによって知名度を上げると考えるため、事務局としては変えるべきものでないという認識を持っている。

分かりました。副題のところは南区～～と、例えば入れるとか、そういうようなアイデアですかね。（井坂会長）

今まで継続してきたが、絶対に変えてはいけないということではない。ただし、これまでの経過が分かるような形で、4回まで実施できていた。Part幾つというのは、いわゆる一般的な何とか大会であれば、第何回というものの代わりの言葉になる。まず「わいわいみんなで語ろう」というところは、ずっと継続してきた名称である。

知らない人が見て、語ろうってどこを語る、何を語る、ただそれだけしかないです。だから私は、「南区」を入れれば、「南区を語る」というのは、もう誰が見ても分かるという意味で言いました。（渋谷委員）

広報紙で公募したらどうか。いろいろ意見が出てくるのではないか。（鈴木委員）

もうすこし時間があればできるが、今回時間も限られている中では、それ以降の議論ということに次へ持っていこうということもできるかと思う。（井坂会長）

運営委員会において、副題のところ議論してもよいと思うが、いかがでしょうか。（松嶋委員）

「わいわいみんなで語ろうPart7」のところまでは、今回に関しては、そのままにしておいて、副題の部分は、運営委員会の中で若いアイデアで考えていただくこととしたい。今ある地域活性化のための取組方法の検討について、このままだと固いということに関しては、大筋、了承いただいた。（井坂会長）

この会議でテーマを決める必要があるので、皆さんから出た意見をまとめると、「いよいよまちつくろう」ってすごくよい言葉と思ったので、ビックリマークを二つぐらいつけて、そして最後に、「令和らしい南区活性化を考えよう」というのを一緒につけるというのでしょうか。（井部委員）

「いいまち」というのは、子育て世代だとか、高齢者とか、いろいろな世代が含まれているので、「いいまちつくろう」と、ただそれだけで子育てとかいろいろなことを話し合うことができると思う。（渋谷委員）

魅力とか、夢とか、未来とか、そういったことの中から具体的なものを引っ張り上げてくるほうが、何か限定しないでいいような気がする。（大木委員）

それぞれの人にとってよいまちって違うと思う。いろいろ意見を抽出する中で、皆さんと議論して、シンプルで、よいまちつくろうというふうに申し上げた。（草薙委員）

地域活性化は残して、「あなたにとっての暮らしやすいまちは」というクエスチョンマークは、どうでしょう。（渡辺（幸）委員）

これシンプルにして、「地域活性化」というテーマでよいか。（松嶋委員）

読んだ人がインセンティブとして、やってみようかなと思うテーマだと思います。最近、話題になるところを見ていると、自虐的なものが多いです。（金森委員）

例えば「求む」とか。それで、令和の地域活性化と。ホワイトボードを使っていきましょうか。（井坂会長）

「募集」、まちづくりのアイデアみたいな。（大木委員）

「いいまち」というワードと、「暮らしやすいよいまち」というのと、その「地域活性化」というのが、何かこの三つぐらいが核になりそうだなと思って、地域活性化って、やっぱりその表現のまんま残した方がいいものでしょうか。最初に決めてしまえば、進みやすくなるかと思う。（隈本委員）

令和4年度から、ずっと抱えてきた、この地域活性化というテーマを外してしまうのはまずいかなと。より具体的に思っていることをどこまで引き出せるかというような、次の副題を探せばいいのではないかというふうに思う。（大木委員）

非常によいご意見をいただいたので、今日ご参加の運営委員の方々も含めて、明日、運営委員会で話をしていただいて、テーマと、副題等を検討していただければと思う。（井坂会長）

（異議なし）

（2）無作為抽出型区民討議会 参加者募集通知書等について

資料に基づき事務局から説明

資料の中身について、保育を必要とされる方は、原則2歳以上の幼児とあるが年齢制限があるのはなぜか。（渡辺（美）委員）

公民館の保育室の利用の年齢が、原則2歳以上となっているため、書き方については検討させていただく。

地図に、徒歩何分か分かるようにしてあげる方がいいかと思う。（渡辺（幸）委員）

資料の加筆修正を行い、発送いただければと思う。（井坂会長）

（3）同封するアンケートについて

資料に基づき事務局から説明

問9から、丸は二つまでと書いてあるが、二つと絞ったのは、なぜでしょうか。複数回答が出そうな気がする。（大木委員）

複数回答にすると統計として薄まってしまう可能性があるので、上位二つを選んでいただきたいと考えた。

今の丸二つということに対して、事務局からの説明では、統計的に全部ばらついてしまうということで、逆に言うと上位二つというような文言、それであるなら入れるとか、幾つもあるでしょうけれども、強いて言うと二つ選んでくださいというニュアンスが伝わるような言い方というのは、あるかなと。（井坂会長）

「人との」という表現があり、冷たい感じがするので、地域活動をテーマにアンケートをするのであれば、ある程度、地域に限定したほうがいいのでは。それから、人に感謝されるテーマ、これも人に感謝されるからやっているという、丸をつけるほうもおこがましい感じがするので、もらった人がほっとするような書き方をしてほしいと思う。（渡辺（幸）委員）

感謝されるという表現も、引っかかっている。（大木委員）

感謝されるためにやっているわけじゃない。（松嶋委員）

先ほどのテーマの表現であったり、副題であったり、改めて区民会議の皆様にも書面でお諮りするので、このアンケートについても、同じようにご意見をいただきたいと考えている。

4 その他

当日のタイムスケジュールについて、事務局から説明

- 中島（勝）委員から、麻溝地区のごみ問題について情報提供。

地域振興課から、「ニューオーノキックオフ」について情報提供。

事務局から、南区若者参加プロジェクト実行委員会主催の「創造せよ!!!みなみ区青祭（ブルーフェスタ）」について情報提供。

5 閉会

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

| | 氏名 | 所属等 | 備考 | 出欠席 |
|----|--------|--|-----|-----|
| 1 | 田村 小次郎 | 大野中地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 2 | 大木 恵 | 大野南地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 3 | 中島 勝平 | 麻溝地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 4 | 穂刈 健二 | 新磯地区まちづくり会議会長 | 副会長 | 欠席 |
| 5 | 篠塚 実希子 | 相模台地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 6 | 松嶋 保和 | 相武台地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 7 | 田村 久司 | 東林地区まちづくり会議 | | 出席 |
| 8 | 鈴木 貴市 | 相模原南交通安全協会 | | 出席 |
| 9 | 佐田 昌史 | 相模原市民生委員児童委員協議会 | | 出席 |
| 10 | 草薙 喜義 | 相模原市社会福祉法人経営者協議会 | | 出席 |
| 11 | 渋谷 典彦 | 相模原市地区社会福祉協議会 南区連絡会 | | 出席 |
| 12 | 渡辺 美帆 | 子育て親育ち応援団With.cfc | | 出席 |
| 13 | 東 正充 | 相模原商工会議所 | | 欠席 |
| 14 | 九嶋 俊彦 | 相模原青年会議所 | | 欠席 |
| 15 | 井部 弥生 | 相模原市民文化財団 | | 出席 |
| 16 | 横山 日南 | さがまち学生Club | | 出席 |
| 17 | 井坂 聡 | 相模女子大学人間社会学部 教授 | 会長 | 出席 |
| 18 | 吉田 貴子 | 女子美術大学芸術学部 教授 | | 欠席 |
| 19 | 田中 美加 | 北里大学看護学部 教授 | | 欠席 |
| 20 | 石森 寿幸 | 公募委員 | | 出席 |
| 21 | 渡辺 幸雄 | 公募委員 | | 出席 |
| 22 | 増本 敏康 | 公募委員 | | 出席 |
| 23 | 金森 巖 | 相模原町田大学地域ｺﾝﾈｸｼｮﾝ業務部部長補佐 市民・大学交流センター | | 出席 |
| 24 | 隈本 光 | 南区若者参加プロジェクト実行委員会 | | 出席 |
| 25 | 長瀬 徹 | ジェイコム湘南・神奈川 相模原・大和局 | | 出席 |